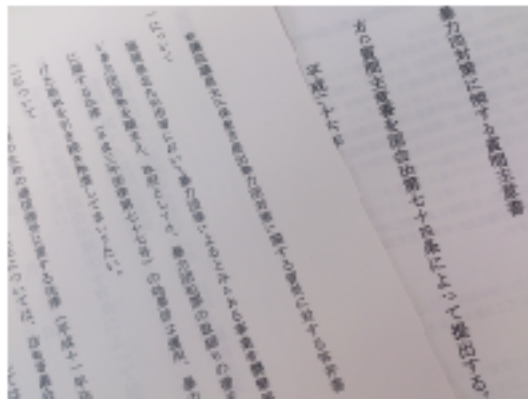


# 質問主意書で地元課題を国に訴え！

暴力団対策に関する質問主意書とその答弁書の写し（右写真）



## 閣議決定後の答弁書を受領

この度、私と緒方林太郎前衆議院議員で協議し、大久保勉参議院議員（福岡県選出）に働き掛けて北九州市の国政課題に関する質問主意書を3月13日に提出、3月20日に閣議決定された答弁書を受領しました。この質問主意書とは、国会議長（今回は参議院議長）から内閣総理大臣に提出され、答弁は内閣総理大臣名で国会議長に戻ってくるという、国会答弁と同等に権威の高い文書質問です。提出したのは以下の3本です。

・暴力団対策委に関する質問主意書 ・「明治日本の産業革命遺産九州山口と関連地域」のユネスコの世界遺産登録に関する質問主意書 ・国道三号線黒崎バイパスの整備進捗状況に関する質問主意書

北九州市に關係する問題で国政にかかわるものは多くございます。今回は重要性が高いと思われるものを提出依頼しました。答弁は不十分なところもありますがそれぞれ政府の取組状況や決意等を聴取できたと思えます。現在浪人中ですが、北九州市の取り組みの一助となりたいとの思いでこれからも地に足をつけて精進を続けます。

北九州市に關係する問題で国政にかかわるものは多くございます。今回は重要性が高いと思われるものを提出依頼しました。答弁は不十分なところもありますがそれぞれ政府の取組状況や決意等を聴取できたと思えます。現在浪人中ですが、北九州市の取り組みの一助となりたいとの思いでこれからも地に足をつけて精進を続けます。

政治家きいたかしを育てよう！  
ワンコインで

きいたかしの現在の政治活動、1か月の活動費のうち約25%は個人からの浄財（会費や寄付）で支えられています。今後、政治活動にかかわる資金は個人献金中心に切り替えていくべきです。きいたかしは支援者と共に、「ワンコイン維新くらぶ」という運動を新しい政治参加の「北九州スタイル」として取り組み、全国に発信しています。所属政党の活動ではなく、政治家きいたかし個人の活動を支えるため、個人個人がワンコイン→500円を毎月会費として納めていただきます。特定のどこからも、誰からも、しがらみなく自由な政治活動ができるこの取り組みにぜひご協力をお願いいたします。

>>> 詳しくは、きいたかし後援会事務所 (093-941-7767) まで。

## 前衆議院議員 きいたかし(城井 崇) 40歳のプロフィール

1973年（昭和48年）北九州市門司区生まれ。田野浦小、早鞆中、門司高、北九州予備校（2浪）、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、衆院選に初挑戦。比例九州にて初当選。05年衆院選で惜敗。4年間の政治浪人後、09年衆院選に再挑戦、小選挙区当選。文部科学大臣政務官、衆院予算委理事、衆院文部科学委理事、事業仕分け第3弾仕分け人等を歴任。12年衆院選で惜敗、捲土重来を期して地元北九州で東奔西走。1男2女のパパとしても子育て奮闘中。得意分野：教育、科学技術、安全保障、行政改革  
好きな食べ物：ラーメン 気になること：花粉症の新薬の処方6月にスタート

「城井崇」で検索。友達申請お待ちします。HP右側ボタンからも。

facebook

twitter

「きいたかし」で検索。HPでも最新のツイートを読めます。



前衆議院議員

読みやすいA3判にいたしました！

# きいたかし

## 城井 崇レポート2014.2~4

きいたかし後援会事務所  
〒802-0072 福岡県北九州市  
小倉北区東篠崎1-4-1-201  
TEL: 093-941-7767  
FAX: 093-941-5535  
メール: smile@kiitaka.net

きいたかしウェブサイトは  
<http://www.kiitaka.net>

介護政策における「要支援切り」

# 介護離職の危機へ対応を

皆さん、こんにちは。前衆議院議員のきいたかしです。今回は介護政策、特に要支援者（要支援1、2）に対する介護保険サービスの市町村事業への移管について述べます。

てのひとが活躍できる社会をつくると言いながら、働く人々を現場から離職させ、働き盛りの40代・50代の介護離職を増大させる政策をなぜとるのでしょうか。要支援切りは家族の介護の負担を増やす冷たい措置と言わざるを得ません。

## 消費増税の上に「要支援切り」

2015年度の介護保険法の改正に向け要支援者向けのサービスの一部を市町村の地域支援事業に移行するという政策変更が安倍政権のもとで行われます。安倍政権の説明はこうです。「要支援者に対する多様なサービスを市町村の実情に応じて柔軟かつ効率的に行うために給付を見直すこととしている」私はこの政策変更はかえって介護を必要とする家族に介護の負担増を強いるものになると考えます。

理由の一つは、サービスは市町村へ移るけれどその分の財源は移らない、つまり消費増税の最中にも関わらず財源カットされるからです。給付カットと共に要支援者へのサービスを介護保険事業から外して市町村に移管するのは「要支援切り」に他なりません。要支援者が適切なサービスを受けられずに重度化する懸念が増してしまいます。

## ボランティアで質の維持できる？

介護離職に拍車がかかると考える理由は他にもあります。それは受け皿の準備が不十分ということです。訪問介護・通所介護についてNPO、民間企業、ボランティアが関わるとされています。このボランティアはプロの介護職員と同様のサービスが行えるのでしょうか。トレーニングが足りないボランティアに当たった場合には、自己責任となります。また社会全体での介護は高齢化が著しい地方こそつらい状況となります。プロの関与が減ることは結果として介護離職を増やします。

## プロによるサービスの利用保障を

このように安倍政権の要支援切りは介護離職を加速させます。消費増税の上での介護切りは許すべきではありません。新規認定も含め、要支援1、2と認定された場合、本人や家族が求めれば今まで通りの介護保険事業所によるプロの介護職員によるサービスを利用できる旨権利として保障すべきです。

## 「要支援切り」は介護離職を招く

もうひとつの理由は介護離職を招く事態となるからです。要支援者の重度化は家族の介護負担を増やします。すべ

# きいたかしはこう考える。

**Q 解釈改憲で集団的自衛権を行使可能に?!**

**A 立憲主義に基づいて国会で議論して決めよ!**

安倍政権は、憲法改正の論議をせずに、憲法の解釈を変更して、集団的自衛権の行使容認をめざそうとしています。私は立憲主義に基づいた対応をすべき、つまり権力をしばる憲法の解釈を、権力の側が勝手に変えてよいはずがないと考えます。仮に集団的自衛権の行使

がどうしても必要な場合に認めるとしても、国民にわかるように議論が行われ、その結果でなければならぬはず。国会の議論は時間がかかるからと数を頼りに無理やり押し切るのではなく、正々堂々国民の代表たる国会の場で議論して決めるべきです。

**Q 派遣労働者は一生派遣で働くことになる?!**

**A 働く者を大事にする労働規制で雇用安定を!**

安倍政権で労働者派遣法の見直しが図られています。具体的には、派遣期間上限最長3年を撤廃すること、派遣元に無期雇用される派遣労働者も派遣期間の制限がないこと等へと変わります。私はこの方向は改悪だと考えます。今回の規制緩和によって正社員から低賃金の派遣社員への置き換えが進む恐れが大きくなるからです。一生派遣で

働く人が増えて雇用の不安定化が加速します。実際、非正規雇用労働者が増えれば増えるほど実質賃金が下がります。若者の雇用環境が悪化する中、不安定で低賃金の派遣労働が増えることは日本の未来にとって大問題です。派遣法の改悪を阻止して、働いて報われる日本、雇用の安定による生活・社会の安定を実現したいと思います。

## 県政改革へ！仲間の福岡県議をご紹介します。



小倉北区 民主党公認・2期

**原田ひろしさん**

北九州市生まれの47歳。民間企業勤務等を経て現職。福祉・医療、防災、公共交通、青少年育成、スポーツ振興に尽力中。



小倉南区 民主党公認・2期

**いずみひろしさん**

北九州市生まれの46歳。高校講師や民間企業を経て現職。防災、中小企業振興、景気・雇用対策、地域の安全対策に尽力中。

写真で見るときいたかしの活動ダイジェスト (1月～3月)



各地のもちつき・どんど焼きに参加。写真は小倉中央校区。



小倉南区でいずみひろしでお県議、奥村直樹市議らと街頭演説。



福岡県議会議員 原田ひろし後援 新春の集い  
原田ひろし県議（小倉北区）の新春の集いで激励挨拶。



第12回西日本選抜少年剣道大会  
西日本選抜少年剣道大会にて少年剣士へ激励の挨拶。



門司区・大里こだわり食市にて参加者と交流を深める。



小倉北区の少年ソフトボール大会にて来賓として挨拶。

### ★九州電力玄海原子力発電所を視察

去る3月19日佐賀県玄海町の九州電力玄海原子力発電所を視察。原子炉建屋、格納容器内に至るまで直接立ち入り、3.11後の安全対策を直接確認しました。



原発職員から3.11後の安全対策について直接詳細に聞く。

▼捲土重来、やるぞ！ きいたかし③つの目標

①世界が振り返る教育・技術立国へ！ ②税金を大切に使う日本に！ ③北九州の元気を日本の元気に！